

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	情報処理技術
科目基礎情報				
開設学科	医療事務科	コース名		開設期 後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 30時間
単位数	2単位			授業形態 講義
教科書/教材	医療情報の基礎知識/南江堂			
担当教員情報				
担当教員	高野 泰志	実務経験の有無・職種	有・医事課長	
学習目的				
医療の情報化が進む今日、保健医療分野で業務に従事される方は、ほとんど例外なく患者情報、健康情報等を扱う情報システム（病院情報システム、電子カルテシステム、レセプト電算処理システム、健診情報システム等）を利用する。電子化された医療情報は紙媒体とは性質を理解し、それを取り扱う者として、ITの基本的素養の知識を習得することを目的とする。				
到達目標				
医療機関で使用されるIT技術としてデータの表現、ハードウェアの種類と機能、ソフトウェアの種類と機能について理解できる。				
教育方法等				
授業概要	診療情報管理士に必要なIT技術（データの表現、ハードウェアの種類と機能、ソフトウェアの種類と機能）について説明する。			
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ガイダンス	授業概要、コンピュータ基礎について理解できる		
2回	情報の表現（1）	情報の単位について理解できる		
3回	情報の表現（2）	文字コードについて理解できる		
4回	情報の表現（3）	データ形式について理解できる		
5回	情報の表現（4）	デジタルデータの作成、扱いに使用される用語について理解できる		
6回	ハードウェアの種類と機能	ハードウェアの種類とその基本機能について理解できる		
7回	ソフトウェアの種類と機能	周辺機器、周辺装置について理解できる		
8回	ソフトウェアの種類と機能	周辺機器、周辺装置を接続するためのコネクタの種類について理解できる		
9回	ソフトウェアの種類と機能	サーバとクライアントの役割について理解できる		
10回	ソフトウェアの種類と機能	コンピュータの信頼性を確保するための技術について理解できる		
11回	ソフトウェアの種類と機能	コンピュータの信頼性を確保するための技術について理解できる		
12回	ソフトウェアの種類と機能	ソフトウェアの種類とその機能		
13回	ソフトウェアの種類と機能	ソフトウェアの種類とその機能		
14回	ソフトウェアの種類と機能	ソフトウェアの操作説明で使用される用語		
15回	ソフトウェアの種類と機能	ソフトウェアの操作説明で使用される用語		